

## 会 議 録

会議名	平成 25 年度第 1 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 25 年 5 月 14 日（火）午後 6 時 30 分～8 時 30 分	
開催場所	八王子市こども科学館会議室	
出席者	委員	大村のり子、小野一之、柿崎博孝、田野倉宏和、田村知美、西嶋佳子、藤岡換太郎、山中幸生、吉田幸子（50 音順）
	事務局	牛山清志生涯学習スポーツ部主幹（こども科学館担当）・田島巨樹郷土資料館長（文化財課長）・森融こども科学館専門幹兼主査・戸井晴夫郷土資料館担当主査、木住野直彦郷土資料館担当主査
欠席者	深栖義昭	
議 題	協議事項 1. 平成 24 年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況と施設評価について 2. その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 平成 24 年度 こども科学館事業実施状況</li> <li>・ 平成 24 年度 施設評価 こども科学館</li> <li>・ 郷土資料館事業実績（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）</li> <li>・ 平成 24 年度 施設評価 郷土資料館</li> </ul>	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>八王子市こども科学館の事業実施状況について牛山こども科学館館長から説明。続いて、八王子市郷土資料館事業実施状況について田島郷土資料館長から説明。</p> <p>— 質疑応答 —</p> <p>小野会長 只今、両館の説明をしていただきました。 数字的なことを言うのであれば、入館者数については、相変わらず快進撃を続けているようです。 郷土資料館については、入館者減となっておりますが、説明にもありましたように原因は明確でありますので、問題にすることは無いと思います。また、そのような中で、新規事業を意欲的に実施していることが大きく評価できるのではないのでしょうか。 では、ご意見等ありましたらお願いいたします。</p> <p>大村委員 郷土資料館施設評価中、‘4市民のニーズにあった運営（満足度調査）’の‘講座満足度’についてですが、「八王子の歴史入門」の申込者が定員を超える申込みがあったと記載されています。抽選に漏れる人をより少なくするために、より収容人数のある会場で開催するというのを考えてみたら良かったのではないのでしょうか。</p> <p>田島館長 この事業は、学習支援課との共催事業でありまして、会場の提供とPRについては学習支援課で行いました。従いまして、会場については、学習支援課の都合でこのような結果になってしまいました。今年は、別の会場でできないかと検討中でして、もし、それができればお断りすることも少なくないのでないかと考えております。</p> <p>大村委員 あと、回数を増やす等も検討していただけたらと思います。聞きたい人が多くいたのにもったいないと思いました。</p> <p>小野会長 今回は感触をみたということで、十分手応えがあったので、今後も事業を継続するという事でよろしいですね。こういったことは、継続することに意義があると思います。</p> <p>柿崎委員 施設評価に関連して、公的施設は、人々が安全・安心に利用できるということが一番だと思いますが、危機管理の対策として、郷土資料館は危機管理マニュアルを活用しているかと書いてありますが、どのようなリスクを想定しているのか。 また、こども科学館では、危機管理マニュアルはお持ちでしょうか。</p>
-----------------------	---

田島館長	郷土資料館の危機管理マニュアルは、市の防災計画に基づき作成しているものです。火災・地震等を想定しています。
牛山館長	こども科学館につきましては、危機管理マニュアルという独特のものは作成しておりませんが、市全体の危機管理マニュアルに基づいた意識を共有しているほか、プラネタリウムの委託会社と共に消防訓練等を実施しております。
柿崎委員	様々なリスクに対応できるマニュアルにしていったら良いのではないかと思います。
大村委員	今の話に関連して、両館に質問ですが、‘2 組織・運営’の‘危機管理・防災体制’の自己評価が‘4 達成’となっています。‘5 十分’となっていない理由とどうしたら‘5 十分’になるのかをお聞きしたいのですが。
田島館長	郷土資料館につきましては、ひとつには施設の設備による問題がございます。来館者の方を確実・安全に退去させるというのが第一で、それができてはじめて、評価‘4 達成’のレベルがほぼクリアできるかと思います。それプラスアルファの中で、今、東京都の福祉のまちづくり条例などの基準をクリアしていない部分もございますので、評価を若干下げた次第です。
牛山館長	こども科学館につきましては、自主的な訓練は行っていますが、大規模訓練は行っていない、不審者対策など十分行われているかというところでもないということでこの様な評価となりました。
山中委員	郷土資料館施設評価の‘3 施設・設備’‘施設設備の維持管理’について質問させていただきます。 建物が45年経っていて、エアコン等の部品調達についてのお話がありましたが、そういった面での危機管理はできているのかお聞きしたいと思います。
田島館長	部品の確保については、点検をしている業者をお願いしております。それ以上の対応をするためには、設備のグレードを上げることとなりますが、それには、大規模修繕が必要となります。八王子市の基本構想・基本計画に「調査・研究など機能の充実をはかり」と掲載されておりますので、今後、その課題を解決して行きたいと考えております。
小野会長	東京都の条例が改正され、来館者の安全確保ではなく、周辺の避難者や帰宅困難者の受け入れの可否を事業者として判

	<p>断を想定されておりますので、そういったものも考慮に入れてマニュアルを作成していただければと思います。これは全庁的なことではあるかとは思いますが、ご検討をお願いします。</p> <p>田野倉副会長 郷土資料館についてですが、暫く維持されるのであればトイレだけでも新しくしてみたいはいかがでしょうか。</p> <p>横山事務所はトイレ・エアコン・換気扇を新しくしたようです。ちょっとしたところでも、新しいものに変えてみると経費的な面も安く上がってくるのではないのでしょうか。今回、図書の売上が増えているので、そこを強く押して予算付けしてもらえないのですか。</p> <p>また、こども科学館の出前講座についてですが、学校へはどの様なかたちで知らせているのですか。</p> <p>森専門幹兼主査 学校には知らせていません。申し込んでいただいた方と話し合いをして行くということになります。今回3回実施しましたが、2校は市内、1校は昭島市の小学校です。内容は、工作教室を1時間程行いました。</p> <p>田村委員 来館するたびに思うのですが、バリアフリー・トイレ・エアコンなどの改修は、大きな施設をつくるという構想があるので、少しずつ手を入れて行くのが難しいのでしょうか。</p> <p>それから、2点目ですが、大学の博物館は入場料をとれず、また、宣伝活動もうまくできないので、明治大学では、千代田区と連携しています。八王子市は、そのようなことについて検討の余地はあるのでしょうか。</p> <p>田島館長 郷土資料館の施設整備は、新しい施設を視野に入れながら、現状の施設を改修し延命をして行く、プラス、来館者が気持ちよく過ごしていただく施設にして行くことが命題だと思っております。ただ、予算の中で動いていますので、それらを含め財政当局に働きかけて行きたいと考えております。</p> <p>また、大学との連携についてですが、八王子市は現在、中核市への移行を検討しております。中核市へ移行しますと、国の重要文化財の一部許認可が移管されてきますので、博物館のレベルを上げるとともに、近隣の美術館や博物館との連携を視野に入れながら、大学との連携も考えて行きたいと思っております。</p> <p>吉田委員 郷土資料館施設評価の中の‘1 使命と計画’‘基本目標の策</p>
--	--

定と公開」と「中長期計画の策定」が「いいえ」となっていますが、目標をはっきりさせ独自なものを出した方が良いのではないのでしょうか。

また、こども科学館の危機管理について、「危機管理マニュアルに基づき」と書いておいた方が良いのではないのでしょうか。こども科学館施設評価の「4 市民のニーズにあった運営（満足度調査）」についてですが満足度が 80%を超えているので評価を「4 達成」とし、他の 20%の方の「こういうところがこうあって欲しい。」という事を打ち出しておけば、翌年度以降の予算に反映させることができるのではないのでしょうか。「7 教育普及事業」の「市内小・中学校、幼稚園・保育園等との連携」は「4 達成」ではなく、「5 十分」ではないかと思います。小学校 6 年生の学習投影見学などは、学校側は大変喜んでいてと思います。文部科学省や東京都などから学力考査がありまして、「天体についての問題が多く出て、こども科学館で勉強したことが大変役立った。」とある先生から話を聞き、まるで自分のことのように嬉しかった記憶があります。バス代の予算取りのご苦勞に感謝しています。効果も認められるので、評価を「5 十分」にしていきたいと思います。

それから、学芸員実習や職場体験の受入に関連してですが、新任採用教員の实習先が、現在、中央図書館のみとなっております。今後、こども科学館や郷土資料館にも受け入れを考えていただけたらと思います。

牛山館長 教員の新任研修につきましては、市指導室より言われ、平成 24 年度は、夏休みに 3 日ずつ 3 名の受け入れを行いました。

吉田委員 人数を更に増やしていただきたい。

山中委員 こども科学館のホームページについてですが、親切ではありますが、表記の文言があやふやで分かりづらい部分がありますので、見直していただきたい。子供連れの方も分かりづらいのではないのでしょうか。

また、郷土資料館のホームページについてですが、案内図に使用している地図は、中央道インターからの案内となっております。利用者の多くは、市内からの方が多いと思いますので、市内の部分をより分かりやすくしたものにした方が良いのではないかと思います。ご検討お願いします。

	<p>田島館長 分かりました。郷土資料館で発行しております‘ミュージアムカレンダー’は、市内を詳細に示した地図を使用しておりますので、それを活用したいと思います。</p> <p>牛山館長 こども科学館のホームページについても改善したいと思います。</p> <p>西嶋委員 郷土資料館の研究調査についてですが、もしできるのであれば、インターネットを使って研究成果等を出してみてもはどうでしょうか。</p> <p>また、郷土資料館で発行している‘郷土資料館だより’についてですが、小・中学生にも分かるように、もう少しだけた言い方にして発信していただけたら、子供達も更に喜んでいただけるのではないかと思います。</p> <p>それから、こども科学館についてですが、プラネタリウムを使っての読み聞かせについて、対象年齢を更に広げたり、平日に開催したりとすると更に喜ばれていただくのではないかと思います。</p> <p>田島館長 ホームページについては更に充実して行きたいと考えております。</p> <p>小学校・中学校につきましては、現在、校長会・副校長会などを通じて、学校への情報提供を行っておりまして、今後は、更に情報発信に努めていきたいと考えております。</p> <p>また、最近では、学校より社会科の授業の一環として、千人同心の話をして欲しいとか、社会科の先生方の研修の中で話をしていただきたいという要望をお受けしておりますので、それらを通して学校との連携を深めて行きたいと考えております。先生方の研修を通じ、お子様に情報が届くと考えております。</p> <p>藤岡委員 評価は、今年で3年目位ですかね。これを何かに役立てて行くのか、例えば、予算などに反映されるようになっているのかどうか。深い位置付けがあるのかお聞きしたい。</p> <p>田島館長 郷土資料館につきましては、施設評価を踏まえまして、予算のベースとしております。いただいたものは、その裏付けとして財政当局に訴えているところでございます。</p> <p>藤岡委員 平成25年度から平成34年度にかけての八王子市の基本計画の話が出てきましたが、郷土資料館とこども科学館について、10年後に向けて何か計画は出てきましたか。</p>
--	--

	<p>田島館長 出したいと思っております。</p> <p>藤岡委員 恐らくそれが一番重要だと思います。ここに足りないと思うのは、こども科学館だと思います。両館を考えた時、八王子の自然・歴史・文化というのが大きなテーマになると思います。それを両方の館でよく相談をして相互に乗り入れできるようなこと、例えば、八王子城を例にすると、単なる歴史として見るのではなくて、自然的な成り立ちを考えて、両方とも伝える。なおかつ、観光などと取り込んでしまう。そういう 10 年計画を出してもらい議論するのが望ましいと思います。ひとつには、市政 100 年というのは、大きなきっかけとなるのではないのでしょうか。</p> <p>小野会長 ここで分散して進んでいる計画をひとつにまとめて、実施していきたいですね。</p> <p>私の方からですが、人材育成や八王子の歴史入門講座の話が出ましたが、人材育成の対象として、八王子市の一般職員に対して‘八王子の歴史・文化について’の研修を行ってみたいはいかがでしょうか。就職活動の広域化に伴い、市の職員といえども、八王子市に在住していない人や初めて八王子市に来るといった人が他市の状況をみても増えてきているのではないかと思います。これから、八王子市で仕事をしていくのであれば、八王子の歴史的な風土に大きく関わって行くと思いますので、そういった時に、郷土資料館でしか蓄積がないわけですから、そのへんを売り込み、職員研修を行いながら、「郷土資料館ってすごい。」ということをつかせるようにして行けば、博物館構想の中にも生かされて行くのではないかと思います。</p> <p>田島館長 現在、八王子市の新人研修は、4月1日採用から約2週間の期間で基本的な事を学んでいきますが、そのカリキュラムのひとつとして、八王子の歴史という講座があります。他にも一般職員を対象とした研修も行っております。今後、こういったことを増やして行ければと考えております。</p> <p>山中委員 こども科学館と郷土資料館の協議会以外の運動性が少なく感じます。また、市民の皆さんも博物館協議会的な位置付けで2館をあまり見ていないのかなと感じます。将来的に博物館大構想的なものがどう繋がるかどうか分からないのですが、もう少し運動性といいますか、歴史・自然・博物館など</p>
--	--

	<p>共通のキーワードがあるので、それをうまく繋げるような例えば、共通のシンボルマークを施設に貼ったり、ホームページに掲載したりと、ここに行く共通の博物館相当のもので行われている事業であるとの意識付けを行うことにより、新博物館構想に繋がって行くのではないかと考えています。協議会で話を聞いていると連動していると感じますが、実際問題として、多分、皆さんそんな見方はしていないのではないかと感じます。せっきく繋がっているものなので、連動性があってもいいのではないかと思います。</p> <p>藤岡委員 大学との連携が一番欠けていると思います。大学の図書館は、そもそも大学で成り立たないのです。八王子に 20 もの大学があって、その大学が八王子に関係した自然・歴史・文化について大学でやるべきだと思うし、大学側が困っているのであれば、出前講座等の形で連携ができるのではないのでしょうか。</p> <p>柿崎委員 郷土資料館施設評価の中の‘6 資料の有効活用’‘資料の修理’は数ではなくて、取り組んでいけば十分なので、数字的な評価ではなく、積極的に取り組んだかということで評価した方が良いのではないのでしょうか。それと、設立の目的があるので、使命をはっきりさせて行く、基本構想とか基本計画とかいったようにあまり難しく考えるのではなく、方向性のある程度示していったら良いのではないのでしょうか。</p> <p>小野会長 他に何かありますか。 無ければ、その他事項について。</p> <p>田島館長 まず、前回の協議会でお話しさせていただいた八王子城跡ガイダンス施設の入館者数についてですが、開館をした 10 月 20 日から 3 月末日までに 20,766 人お見えいただいております。一昨年度、八王子城跡を訪れた人数よりも 1 万人以上増えており、ガイダンス施設の果たした役割は非常に大きいと分析しております。</p> <p>また、4 月 14 日に御主殿跡の復元的整備でエコミュージアム的な展示を行いまして、公開初日、市文化財課文化財担当学芸員が解説を行いました。当日約 700 人の方にご参加いただきました。今後も、このような催しを実施しながら、活用を考えていきたいと思っています。</p> <p>続けて、八王子城跡の御主殿跡の復元的整備の概略をご説</p>
--	---



明させていただきます。八王子城跡は、平成 17 年度から平成 26 年度まで保存管理計画を立てまして、その計画に基づき、平成 20 年度から平成 24 年度の 5 カ年計画で整備を進めて参りました。国あるいは東京都の補助金を受けて整備をしていたものでございます。復元的整備の内容についてですが、平成 4・5 年度の 2 カ年に発掘調査を行いました御主殿跡について、一方は発掘した時の状態、一方は発掘に基づいて考えられるところまで整備をしたという 2 つの種類の整備をしたということでございます。後者の部分についてですが、会所と呼ばれている建物跡ですが、遺構を守るということで、整備面から約 50～80 c m 盛土をしまして、その上に礎石、その上に間取りまで復元をしました。何故できたかといいますと、礎石に落城時に焼けた柱の跡が残ってしまっていて、その焼け跡から柱の太さや形などが分かりましたので、戦国時代の他の遺跡や文書等の情報も加えながら間取りまで復元したところでございます。復元に関しましては、床の部分はプラスチック擬木で腐らないもので整備しまして、廊下に関しましては、文化庁からの指導で杉板を使用しました。よって、廊下の部分に関しましては何年かしたら張り替える必要が出てきます。

もう一つの整備ですが、主殿ですとか庭園については、遺構から 60 c m 盛土をし、その上に石を置きまして整備をしました。ただ、凹凸の部分を忠実に再現したので、発掘をした時の資料と照らし合わせれば、その当時の礎石のイメージはつかんでいただくと考えております。特に 30 c m を超えた穴については、それを掘ってしまいますと遺構を傷つけることとなりますので、黒い樹脂で覆っておきました。約束事として黒い樹脂が、それ以上深いと解説版等で説明をしております。今後につきましては、御主殿跡で平成 4・5 年に発掘できなかった約 200 m<sup>2</sup>位のところがあるのですが、これを今年、本格的に発掘をしたいと思っております。発掘した状況を基に実施設計を行いまして、その部分の復元的整備を平成 26 年度に行う予定です。これで、一旦、御主殿跡の復元的整備は終わることになります。平成 27 年度以降の整備に関しましては、平成 27 年度以降の保存管理計画を本年度から来年度までの 2 カ年をかけ策定し、それ以降の整備活用については、そ

	<p>れに基づいて行く予定であります。説明は以上でございます。</p>
小野会長	この件についての質問はありますか。
山中委員	八王子城跡ガイダンス施設のパンフレットについてですが、表面がザラついており、刷り直しする際には見直した方が良いのでは。
田島館長	検討します。
小野会長	その他事項について、他にありますか。
牛山館長	こども科学館のネーミングライツについてですが、これから募集を始めることとなります。その後、受付・審査を行い、OKであれば8月からネーミングライツがスタートすることとなります。
小野会長	決定した際の発表はいつ頃になりますか。
牛山館長	7月頃になるかと思います。
小野会長	そうすると、看板等の表示物・印刷物が替わることになりますね。
牛山館長	そうですね。8月頃、表看板や配布物を替えることになると思います。
小野会長	<p>良い方向へのきっかけになるよう期待しましょう。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>無いようであれば、今回の会議が、任期最後の協議会となります。一言ずつで結構ですので、各委員さんよりご挨拶をお願いしたいと思います。</p> <p>私が最後に言うのもおこがましいので、最初に話をさせていただきます。</p> <p>今後に向けて継承していただきたいこと、こども科学館については、入館者数が快進撃を続けてきましたが、そろそろこれも頭打ちですよね。リニューアルの効果もここで終わるかもしれません。これは、今までの努力が実り、ある程度達成されたと考えられますので、それ以後のこと、例えば、入館者数が頭打ち・入館者減になったということも想定しながら、そして、その時には施設としての使命に立ち返り、また一歩進んで行っていただければと思います。</p> <p>一方、郷土資料館につきましては、どうしてもハードの限界に達していると思います。これまでの実績は非常に良かった訳ですから、この機会を逃さずに、長期的な新館構想を作っていただき、将来に繋いでいただきたいと思います。</p>

	<p>以上が、この協議会に関わらせていただいたなかでの一番の願いです。</p> <p>田野倉副会長 郷土資料館は、色々と工夫なさっておりますが、資料館という何か資料を調べに行くところというイメージに感じます。</p> <p>これからは、八王子市は55万人位の都市になったので、八王子市の内容について知らせるような意味をもった施設になって行けばいいなと思っております。</p> <p>こども科学館については、‘サイエンスドーム’であれば、もう少し科学的なことがあった方が良くし、‘こども科学館’であれば、子供を対象にしたものがもう少しあった方が良くと思います。</p> <p>今後、両館あわせて文化施設的エリアが形成できれば良いと思います。</p> <p>田村委員 博物館の中にも情熱というものが深くあると感じた6年間でした。色々と勉強となりました。有難うございました。</p> <p>藤岡委員 博物館を目指す場合に、それぞれの館の売り物を考えるということになると思います。例えば、恐竜の化石がでる福井県の博物館は、恐竜が売りになっています。自然のものを考えると、こども科学館は、メタセコイヤ・、象の化石・高尾山になるのではないのでしょうか。郷土資料館は、八王子城になると思います。そして、それを全面に出して行き、両者協力していったら良いのではないのでしょうか。</p> <p>また、これからやらなくてはならないのが、両博物館だけではなく、観光課と連携して、例えば、ジオパーク的なものを目玉にして、そこに集約して行くのかなと思います。そのためには、アクセスの問題、例えば、観光課にループバスでも作らせて、名所を回れるようにしてみたら良いのではないのでしょうか。文化だけを考えるのではなく、自然も考えなさいという話もありますので、そういうことも含めて今後行っていただければいいかと思います。</p> <p>吉田委員 6年間ありがとうございました。学校にとってどう有効活用できるか、子供にとってどうなのかということを考え委員を務めさせていただきました。こども科学館と郷土資料館2館に社会科という区分があったからこそ色々考えられたのかなと感じております。これは、やはり売りのひとつだと思っ</p>
--	--

	<p>ております。</p> <p>また、入館者数を競うということは、最初から気になっていましたが、将来子供達に残してあげるということで、やり方をきちんと整理していくことが必要であると感じます。未来の子供達の「八王子のよさ」を伝えて行きたいなと一層強く思いました。有難うございました。</p> <p>山中委員 使命に繋がることと思いますが、何%増えたということは、大事なことです。集客が多ければいいというだけではなくて、少なくともきちんとここに博物館相当のこども科学館と郷土資料館というものが存在していることが一番大事だし、それが市で運営し存在し続けて行くというのが非常に大事なことだと思います。それを誇り高く今後も続けていきたいと思えます。</p> <p>西嶋委員 とても勉強になりました。私は、転勤族でいろいろな地を転勤してきましたが、八王子は、歴史にしても文化にしても自然にしても独特ないいものを持っていて、しかも、博物館協議会という場において市民の意見を受け入れていただいている街だなと感じております。これからは、いいところがたくさんあるということ色んな機会に宣伝し、両館共良いものになって行くよう、私達も見守っていきたく思いますので、ぜひ頑張って良いものを作って行ってください。</p> <p>柿崎委員 両館共非常に努力されて、数字に良く表れていると思えます。ただ、入館者ではなくて、質を高めていくような方向で少し変わって行けたら良いのではないかと感じております。</p> <p>あと、ゴールデンウィークに八王子城跡に行きましたが、沢山訪れるようになって良かったと感じております。ただ、八王子の施設が単独とかバラバラになっており、もったいないと感じております。ネットワークから生み出す力というものは大きいものだと思いますので、これからは、文化施設のネットワークを働かせることに目を向けていただければと思います。</p> <p>大村委員 博物館協議会の委員をやらせていただいて、いろいろなことを学ばせていただきました。もし、やっていなかったら、ほぼ知らないままで過ぎていたのではないかと感じております。ということは、委員をやっているから分かるのであって、</p>
--	--

委員でない人たちは、あまりよく知らないまま行ってしまっているのではないかと思います。例えば、八王子市史研究にハチオウジアザミとかヤブムグラなどの植物について、詳しく書いてあります。こういうことが研究されているなど知りませんでした。こういうのがあったらいいと思っていることが、既に本に載っています。でも、この本を買わなくて、何も知らないで過ごしてしまう人が多いのではないかと思います。表題に〇〇研究とか書いてあり、中身も漢字がたくさん書いてあると、読むのがイヤになってしまうので、郷土資料館発行の資料集や研究紀要とは別に、もっとカラフルで漫画が描いてあるポスター等でもあれば、「こんなものがあったのか。」などと知る機会が増えて行くのではないかと思います。

小野会長 はい。有難うございました。皆さん含蓄のある深い言葉をいただきました。私も共感いたします。協議会では言うことは簡単ですが、実際にやることの苦労はよく分かりますので、一同心から敬意を表しまして、これからも市民として博物館を応援して行くということをお伝えしまして、平成 25 年度第 1 回八王子市博物館協議会を終了させていただきます。

どうも有難うございました。